

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

平成20年度以前取得の固定資産は、定率法によっている。

リース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入単価をもって、期末棚卸資産の単価を計算する最終仕入原価法

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する期間の額を計上している。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,433,819	2,823,757	3,433,819	0	2,823,757

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

① リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理により行っている。

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引（リース資産）は、スポーツトラクターE-224型である。

未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	921,084	3,300,531	4,221,615

当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額(単位:円)

支払リース料	421,200
減価償却費相当額	383,785
支払利息相当額	37,415

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	50,000,000	0	50,000,000
定期預金	50,000,000	0	50,000,000	0
合 計	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	50,000,000	(0)	(0)	(0)
合 計	50,000,000	(0)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
作業車両具	1,658,043	1,658,042	1
車両運搬具	1,081,940	1,081,939	1
リース資産 (スポーツトラクター E-224H型)	4,605,400	383,785	4,221,615
合 計	7,345,383	3,123,766	4,221,617

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上の 記載区分
補助金等						
運営補助金	薩摩川内市	0	277,460,000	16,030,751	261,429,249	一般正味財産
文化事業推進補助金	薩摩川内市	0	4,000,000	1,618,097	2,381,903	一般正味財産
合 計		0	281,460,000	17,648,848	263,811,152	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産の普通預金利息計上による振替額	25,000
合 計	25,000